

2021年事業報告書(2021年4月1日～2022年3月31日)

2021年度は、2020年度に続き新型コロナウイルスの感染拡大を受け、予定していた国内及び海外セミナーは実施できなかったが、感染対策を講じた上で保険フォーラムを開催することができた。また、早稲田大学大学院会計研究科で2022年度から新たに開講される寄附講座(提携講座)につき契約を締結し、ベトナム保険協会との新たな奨学金制度につき、覚書を締結した。

運用環境については、引き続き国内では超低金利が続いた。2022年度の満期償還債券の再投資時期までに金利の上昇が待たれるところである。

1. 事業報告

(1) 研修事業

① 海外現地セミナー

今年度の海外現地セミナーは、3か国で開催することとしていたが、新型コロナウイルス感染が終息せず、開催を中止した。

開催地	開催時期	共催団体
中国	中止	—
フィリピン又はカンボジア	中止	—
韓国又はベトナム	中止	—

② 国内セミナー

国内(東京)セミナーは、春秋共に、新型コロナウイルス感染が終息せず、開催を中止した。

セミナー名	開催時期	基本言語	参加者数
OLIS 2021 Spring	中止	—	—
OLIS 2021 Autumn	中止	—	—

③ セミナー講義動画作成及び配信

昨年度に引き続き、過去のセミナー講義資料を使用した研修動画を作成し、財団ホームページで公開した。

講義名	講義者	セミナー	言語	公開時期
老年学(ジェロントロジー)から見たシニアマーケティングとは	堀内裕子氏 (シニアライフデザイン代表)	2019 東京 秋セミナー	英語	2021年4月

また、国内セミナーの開催を中止したため、昨年度及び今年度財団ホームページに掲載したセミナー講義動画の中から「アジアの高齢化」、「日本の人口動態の変化と今後の生命保険」、「老年学(ジェロントロジー)から見たシニアマーケティングとは」及び「日本の介護保険について」についての視聴レポートを、アジアの生命保険会社、生命保険協会及び監督官庁の役職員の方々から募集した。視聴レポートは講師にフィードバックし、優秀なレポートについては、感謝状と記念品を贈呈した。

(2) 教育振興事業

① 生命保険寄附講座

慶應義塾大学理工学部の「生命保険概論」は、10月より12年目(3年講座期間の第4ターム3年目)を開講した。

学期「講座名」	開講期間	場所
春学期「生命保険数学特論」	9/6～9/10	オンライン講義
秋学期「生命保険概論」	10/7～1/20	慶應義塾大学日吉キャンパス

2014年度より中央大学理工学部・大学院理工学部研究科において「OLIS・プルデンシャル生命・ジブラルタ生命保険寄附講座」を開設し、2021年度は8年目(3年講座期間の第3ターム2年目)を開始した。

学期「講座名」	開講期間	場所
金融工学	前期	オンライン講義
保険数理	後期	オンライン講義
アクチュアリー数理Ⅰ	前期	中央大学大学院理工学研究科
アクチュアリー数理Ⅱ (アクチュアリー数理特論)	後期	中央大学大学院理工学研究科

また、新たに早稲田大学商学学術院と寄附講座(提携講座)に関する契約を締結した。「生命保険の理論と経営」という講座名で、2022年度秋学期に早稲田大学大学院会計研究科において開講される予定である。

② 保険フォーラム

本年度は、次のとおり4回開催した。

開催大学	テーマ	開催日	参加人数	方式
東北大学	生命保険とその数学・データサイエンスとの関わり	10/30	50名	対面＋オンライン
慶應義塾大学	生命保険 経済学からのランドスケープ	10/30	63名	オンライン
早稲田大学	アクチュアリーとデータサイエンス	11/13	79名	対面＋オンライン
岡山大学	アクチュアリーの仕事とデータサイエンス	1/23	21名	オンライン

※中央大学は中止した。

(3) 奨学制度

生命保険を学ぶ大学生を対象にタイ生命保険協会が実施している奨学制度を助成する「タイ生命保険協会奨学制度」は、奨学生4名に対して一人5,000バーツ、合計20,000バーツ(約7万円)を7月に給費した。

また、新たにベトナム保険協会と、ベトナムの大学において生命保険を学ぶ第三学年を修了した学生を対象とした奨学金制度について、覚書を締結した。2022年度以降、毎年、総額3,000米ドルを給費する予定である。

(4) 広報・出版事業

① 論文・書籍・情報の翻訳

『僕は明日もお客様に会いに行く。』(川田修 著)を英語及び中国語(繁体字)に翻訳し、出版した。完成した各訳本は、アジア各国の生命保険協会、生保関係機関、主要保険会社及び国内関係機関へ、無償で配布した。

② ホームページの改修

セミナー講義動画など最新情報の発信に努めている。また、慶應義塾大学寄附講座の一環で作成された、アクチュアリー試験対策を目的としたチュートリアル教材動画へのリンクを掲載した。

③ 「日本の生命保険マーケット最新事情」の発信

日本の生命保険マーケットの最新事情をアジア各国に理解してもらい、自国の生命保険事業振興の参考としてもらうことを目的に、「日本の生命保険マーケット最新事情」を、英語、日本語、中国語(繁体字・簡体字)の3か国語、4文体で財団ホームページに掲載している。今年度は「新中期経営計画に見る国内保険事業回復への鍵」、「ESG投融資」は生命保険会社にとって、なぜ必要な

のか?」、「生命保険会社は「DX 戦略」で何を狙っているか?」、「「コロナ禍」で躍進したライフネット生命、この勢いをどのように持続していくか?」を掲載した。

(5) 運営委員会の開催

広い視野に立って財団の事業の在り方を検討するため、2021 年度は次の方に運営委員会委員を依頼した。

① 運営委員の選任

- 森宮 康 委員 (財団理事 明治大学名誉教授)
- 前田 吉昭 委員 (財団理事 東北大学特任教授(客員)、慶應義塾大学名誉教授)
- 山内 恒人 委員 (財団理事 慶應義塾大学理工学部数理科学科特任教授)
- 飯島 至雄 委員 (財団評議員 元三井住友海上火災保険(株)執行役員)
- 寺田 重陽 委員 (財団評議員 前財団理事長)

(6) 寄附講座選考委員会の開催

- 日時 2021 年 4 月 8 日 16 時 00 分～
- 場所 (公財)アジア生命保険振興センター理事長室(Web 会議システムによる開催)
- 議題 ・寄附講座助成金交付大学の審議(2022 年度開始分)

2. 組織運営報告

行事	開催日	主な議事・内容など
第 2 回寄附講座選考委員会	2021 年 4 月 8 日	寄附講座助成金交付大学の審議(2022 年度開始分)
会計・業務監査会	(書面開催)	2020 年度事業と会計の監査
第 29 回理事会	2021 年 5 月 10 日	2020 年度事業報告及び財務諸表、2022 年度寄附講座助成大学の選定、定時評議員会開催、監事候補者の推薦
第 15 回評議員会	2021 年 6 月 10 日	2020 年度事業報告及び財務諸表、監事の選任
第 30 回理事会	2022 年 2 月 10 日	2022 年度事業計画及び収支予算 2022 年度資産運用計画

3. 管理部門

(1) 職員の勤務状況

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大への対応として在宅勤務を基本とし、必要に応じて月に数日オフィスに出勤する態勢としている。